

施策評価シート

対象事業年度 令和 2 年度

重点施策2・施策3

政策	II 港湾の安全確保と大規模災害にも対応できる地域防災を目指した港づくり	施策推進責任者	総務部長・港営部長・建設部長
施策	3 港の安全性・信頼性・危機管理の向上		

1. PLAN(目的・展開内容)

目的	サービスの対象者(誰のために)	地域住民、来訪者、就業者、船会社、港湾運送事業者、荷主など	意図(どういった状態にしたいのか)	防護機能の強化により背後地域を高潮や津波から守り、災害に強い港湾機能を提供するとともに、災害発生時に備えた訓練の実施など、利用する人々が安全安心に利用できる、信頼される港
	サービスの対象物(何を)	防潮扉などの防護機能や防災対策、保安対策などの防災危機管理機能		
展開	<p>背後圏の人々の生命と財産を守るため、防潮扉改良等による防護機能の強化や、建築物の地震対策に取り組みます。港湾施設の老朽化に対し、予防保全の観点から計画的な維持管理に取り組み、経費の抑制と平準化を行いながら、安全性、利便性を確保します。特定外来生物であるヒアリ等への対応については、引き続き、関係機関と連携して水際の防除に取り組みます。災害発生時の確かな防災活動に向けて、職員に対する訓練などを行うとともに、沿岸防災情報管理システムなどの適切な維持を行うなど、防災・危機管理機能の強化に取り組みます。また、台風襲来時の防災活動を迅速かつ円滑に実施するため、フェーズ別高潮・暴風対応計画の拡充に取り組みます。災害発生時に港湾機能の早期回復を図るため、ワークショップなどを通じて名古屋港BCPの実効性を高めるための検討や訓練などを実施します。埠頭訓練を実施するとともに、関係機関と情報共有を図り、確実な保安対策を実施します。</p> <p>(重点施策2)</p> <p>発生が懸念されている大規模地震による津波から、港の利用者や背後地域の人々の生命と財産を守るため、地震・津波対策として防潮壁改良を行うなど、防護機能の強化を関係機関と連携しながら着実にすすめます。また、大江川地区については、防護ライン変更に伴う防潮壁の整備を行うとともに、地震に伴う液状化による汚染土壌の拡散を防止する対策などをすすめます。</p>			

2. DO(施策を構成する各事務事業の取組内容・今後の方向性)

(1) 重点施策2

※平成30年度の成果目標値及び実績値は「政策体系2018」の数値を参考として記載しています。

コード	事務事業名(担当課名)	成果目標名【指標型】	30年度 元年度 2年度			目標値(5年度)	2年度の状況	2年度実施事業に基づく評価結果		3年度以降の方向性	・事務事業の方向性を判断した理由 ・目標年次の変更等の理由 等
			上段: 成果目標 目標値	中段: 成果目標 実績値	下段: 事業費(単年度・人件費込・国費除く)			成果	コスト		
			30年度	元年度	2年度						
重施02事01	防潮壁改良事業(事業推進課)	整備延長(全9.6km)【進行管理型】	1.04km	1.74km	2.23km	4.2km	やや遅れ	継続	拡大	拡大	令和2年度の状況は、費用のかかる地盤改良工を主に行ったため、完了断面の整備延長が伸びず「やや遅れ」となりました。方向性を判断した理由は、名古屋港の防災機能を強化し、背後地域の生命と財産を守るため、事業実施の一層の進捗を図る必要があるため。
			1.10km	1.30km	1.50km						
			232,759千円	696,532千円	692,968千円	5年度					
重施02事02	大江川地区地震・津波対策事業(事業推進課、環境担当)	大江川地区締切施設整備進捗状況(全6工程)【進行管理型】		2工程	4工程	6工程	やや遅れ	継続	維持	維持	令和2年度の状況は、感染症の影響により、事業化基礎調査の工期延長を行ったため、陸上部防潮壁新設の設計が完了できず「やや遅れ」となりました。方向性を判断した理由は、名古屋港の防災機能を強化し、背後地域の生命と財産を守るため、事業実施の一層の進捗を図る必要があるため。
			1工程	2工程	3工程						
				133,420千円	147,275千円	5年度					

(2) 施策3

施03事01	堀川口防潮水門の地震・津波対策(工事課)	既設躯体への耐震補強工事完了までの進捗状況(全4工程)【進行管理型】	3工程	3工程	3工程	4工程(累計)	順調	継続	維持	維持	背後地の安全性向上に必要不可欠な事業であり、着実に事業を進めていく必要があるため。(令和3年5月に躯体の補強が完了)
			3工程	3工程	3工程						
			243,963千円	320,411千円	303,607千円	3年度完了					
施03事02	大江ふ頭耐震強化岸壁改良事業(事業推進課)	事業進捗率(整備費換算)【進行管理型】	84.9%	100%	100%	100%(累計)	順調	完了			大江ふ頭耐震強化岸壁改良事業が完了し、震災時の緊急物資輸送や震災後の復旧期間における貨物輸送の確保が可能となったため。
			66.7%	74.5%	100.0%						
			425,629千円	293,425千円	728,453千円	2年度完了					
施03事03	建築物耐震対策整備事業(施設工事担当)	一定規模以上の建築物における地震対策数(全16棟)【進行管理型】		2棟	3棟	7棟(累計)	順調	継続	維持	維持	耐震性能が不足する建築物の地震対策を引き続き実施していく必要があるため。
				3棟	4棟						
			215,538千円	347,505千円	403,770千円	5年度					
施03事04	港内流出防止柵等設置(陸上貯木場)(港営課)	事業進捗率(%)【進行管理型】			100%	100%	順調	完了			陸上貯木場に流出防止柵等を設置し、高潮・暴風による木材等の流出防止措置を実施したため。
					100%						
					24,186千円	2年度完了					
施03事05	港湾施設等の維持補修(維持管理推進担当)	点検診断率【単年度管理型】		100%	100%	100%	目標値どおり	継続	維持	維持	港湾施設等の適切な維持補修により、施設の安全性確保や長寿命化を着実に進めていく必要があるため。
			100%	100%	100%						
			1,583,902千円	2,753,519千円	2,519,204千円						
施03事06	ヒアリ等対策の推進(港営課)	ヒアリ等の定着件数【単年度管理型】		0件	0件	0件	目標値どおり	継続	維持	拡大	環境省及び専門家の意見を踏まえ調査方法、調査範囲、時期の見直しを行い調査を強化する必要があるため。有翅女王アリを含むヒアリの確認が2事例あったことから、環境省及び専門家の意見を踏まえ、調査方法、調査範囲、調査時期の見直しを行い、調査を強化する必要があるためコストは「拡大」とし、定着防止に努めています。なお、成果は定着件数を0件とすることから「維持」とします。
			0件	0件	0件						
			7,503千円	13,952千円	16,410千円						
施03事07	堀川口のポンプ施設・防潮水門及び港内の防潮扉等の管理・運用(運河河川担当)	災害時の施設の故障発生件数【単年度管理型】	0件	0件	0件	0件	目標値どおり	継続	維持	維持	堀川流域市街地を高潮や津波から守るため必要不可欠な事業であり、適正な管理を推し進めていく必要があるため。
			0件	0件	0件						
			478,165千円	249,349千円	200,047千円						
施03事08	中川口等におけるポンプ施設・通船門の管理・運営(運河河川担当)	災害時の施設の故障発生件数【単年度管理型】	0件	0件	0件	0件	目標値どおり	継続	維持	維持	中川運河流域市街地を高潮、津波や大雨から守るため必要不可欠な事業であり、適正な管理を推し進めていく必要があるため。
			0件	0件	0件						
			761,295千円	157,868千円	202,704千円						
施03事09	防災教育・訓練の推進(危機管理課)	防災教育・防災訓練実施回数【単年度管理型】	10回	10回	13回	13回	目標値どおり	継続	維持	維持	防災教育・訓練は継続的に実施する必要があるため。
			13回	11回	13回						
			11,985千円	13,479千円	14,118千円						
施03事10	名古屋港湾機能継続計画(名古屋港BCP)の推進(危機管理課)	協議会及びワークショップ・訓練を実施した回数【単年度管理型】		4回	4回	4回	目標値どおり	継続	維持	維持	感染症拡大防止のため書面開催であったものの、港湾機能の早期回復が図れるよう継続して実施する必要があるため。
			4回	4回	4回						
			9,288千円	16,249千円	16,459千円						
施03事11	フェーズ別高潮・暴風対応計画の拡充(危機管理課)	フェーズ別高潮・暴風対応計画拡充までの進捗状況【進行管理型】		1工程	2工程	2工程	順調	完了			コンテナ、完成自動車、木材に係る計画の取りまとめが完了したため。
				1工程	2工程						
				7,339千円	7,329千円	2年度完了					
施03事12	沿岸防災情報管理システムなどの維持(危機管理課)	試験通報(到達・応答の精度)【単年度管理型】	100%	100%	100%	100%	目標値どおり	継続	維持	維持	的確な防災活動に活用できるよう、継続して維持していく必要があるため。
			100%	100%	100%						
			27,612千円	75,856千円	79,038千円						

施03 事13	防災用資機材の確保 (危機管理課)	防災用資機材の数量点検の 実施率 【単年度管理型】	100%	100%	100%	目標 値どお り	継続	維持	維持	防災用資機材を継続的に確保しておく必要があるため。また、感染症の収束の見通しがないことからマスク等の確保を継続するため。
			100%	100%				100%	取組及び資源(財・人)の投入は妥当である。現状を維持する。	
			460千円	8,425千円				6,603千円		
施03 事14	国際港湾施設の確実な保安対策の 実施 (危機管理課)	保安訓練の実施回数 【単年度管理型】	6回	6回	6回	目標 値をや や下 回る	継続	維持	維持	感染症拡大防止のため中止となった訓練があったが、国際港湾施設において保安対策を維持・強化し、安全性を確保していくことが必要であるため。なお、成果については、引き続き目標達成を目指すことから「維持」とし、コストも「維持」とします。
			6回	5回				5回	取組及び資源(財・人)の投入は妥当である。現状を維持する。	
			5,541千円	7,257千円				6,333千円		
施03 事15	感染症拡大防止に向けた水際対策 の実施 (危機管理課)	情報提供の実施率(%) (単年度管理型)	100%	100%	100%	目標 値どお り	継続	維持	維持	感染症の収束の見通しがない中、引き続き感染症拡大防止に向けた水際対策を実施する必要があるため。
			100%	100%				取組及び資源(財・人)の投入は妥当である。現状を維持する。		
			1,832千円							
施03 事16	港湾施設の保安対策のための監視 業務等の実施 (港湾管理事務所)	制限区域における危害事案 発生件数 【単年度管理型】	0回	0回	0回	目標 値どお り	継続	維持	維持	船舶及び港湾施設の保安の確保を目的とした「国際航海船舶及び国際港湾施設の保安の確保等に関する法律」の規定に基づく法定事務であり、引続き保安の確保に努める必要があるため。
			0回	0回				0回	取組及び資源(財・人)の投入は妥当である。現状を維持する。	
			245,090千円	435,304千円				449,955千円		
施03 事17	ジェティーストの撤去 (関連事業担当)	事業進捗状況(全3工程) 【進行管理型】	2工程	3工程	4工程	順調	継続	維持	維持	引き続き、一般来港者や周辺事業者の安全確保のため事業を進める必要があるため。
			2工程	2工程				3工程	取組及び資源(財・人)の投入は妥当である。現状を維持する。	
			5,019千円	917千円				76,016千円		

施策コスト(合計)	4,253,749千円	5,530,807千円	5,896,307千円
-----------	-------------	-------------	-------------

3. CHECK(成果目標の状況・2年度の取組内容など)

施策 成果目標	実績等		年度			目標値 [5年度]	成果目標の達成度に対する評価(外部要因等があればその旨を踏まえて記載)
	30年度	元年度	2年度	30年度	元年度		
津波による浸水からの防護面積	目標値	ha			159ha	307ha	令和2年度は防潮壁の改良について、事業費の確保はできたものの、主に整備単価の高い工種(地盤改良工)を施工したため、整備完了延長が伸びず、防護面積の目標値を達成できませんでした。 ・部分的な損傷はあったものの、「名古屋港インフラ長寿命化計画」に基づき計画的に事業進捗を図ることにより、良好な施設の維持を保つことが出来ました。
	実績	ha	99ha	113ha	121ha		
計画的な維持補修事業進捗率	目標値	%		40%	50%	80%	
	実績	%	29%	38%	49%		

構成事務事業の妥当性(施策目的を達成するために構成した事務事業に不足や問題点はないか?)
適正・見直しが必要

4. ACTION(課題・3年度以降の取組方針)

(1) 重点施策2

2年度に取り組んだ内容	課題	3年度以降の取組方針
重施02事01 防潮壁改良事業 築地東ふ頭地区、昭和ふ頭地区、潮見ふ頭地区の防潮壁改良を行うとともに、大手ふ頭地区、大江ふ頭地区、大江川地区、潮見ふ頭地区の利用者調整及び設計を行いました。さらに、老朽化対策として、船見ふ頭地区の防潮壁改良を行いました。	引き続き国への要望活動を行い、事業費を確保する必要があります。また、防潮壁背後には事務所等が立地し、狭い場所での施工となるため、利用者調整を行いながら事業進捗を図っていく必要があります。	防潮壁の改良は、事業費の確保に努めながら、背後地の利用者調整を進め、整備進捗を図っていきます。
重施02事02 大江川地区地震・津波対策事業 大江川地区締切施設等の新設については、地震・津波にも対応する河口部締切護岸の設計業務(事業化基礎調査)を行い、完了しました。また、陸上部防潮壁新設の設計(実施設計)の発注を行いました。汚染土壌対策については、名古屋市と協同し、公有水面埋立に向けた環境影響評価や設計を行いました。	大江川地区締切施設の整備に必要な国の補助事業枠を確保する必要があります。また、周辺関係者との調整を行いながら事業進捗を図っていく必要があります。汚染土壌対策については、基本設計を踏まえ環境への影響を配慮し、工法・工程等の検討を進める必要があります。	引き続き、残りの設計を行い、大江川地区締切施設の整備に必要な国の補助事業枠の確保に努め、関係者調整を行い整備の進捗を図っていきます。汚染土壌対策については実施設計や、公有水面の埋立に必要な環境影響評価手続きを進めていきます。

(2) 施策3

施03事01 堀川口防潮水門の地震・津波対策 堀川口防潮水門の1号通航水門の耐震補強工事を完了しました。また、排水水門の耐震補強工事を進めました。	堀川口防潮水門の地震・津波対策は、背後地の安全性向上に必要不可欠なものであり、継続して事業を進めていく必要があります。また、既存の水門は高潮対策に主眼を置いた構造であることから、津波への対策を更に強化する必要があります。	堀川口防潮水門は、令和3年度の完了を目途に躯体の耐震補強工事を着実に推進するとともに、新たな水門の実現に向けて最新技術も踏まえた検討を進めていきます。
施03事02 大江ふ頭耐震強化岸壁改良事業 老朽化対策のため、岸壁改良(海側及び陸側の地盤改良、新設控え鋼管杭打設、既設鋼管矢板補修)を行いました。		
施03事03 建築物耐震対策整備事業 稲永ふ頭南2号上屋の地震対策を実施しました。	建築物の地震対策は、港の安全性の向上には必要不可欠な事業であり、継続して事業を進めていく必要があります。	耐震性能が不足する建築物の地震対策を引き続き行っていきます。
施03事04 港内流出防止柵等設置(陸上貯木場) 流出防止柵等の設置を100%実施しました。		
施03事05 港湾施設等の維持補修 老朽化した施設の維持補修を計画的に行いました。	今後も維持管理計画に基づく計画的な点検診断を適切に実施していく必要があります。	維持管理計画に基づき、引き続き、計画的な点検診断を実施し、適切な補修スケジュールの決定に努めていきます。
施03事06 ヒアリ等対策の推進 コンテナターミナル(飛島ふ頭東側CT・飛島ふ頭南側CT・鍋田ふ頭CT)年6回及びコンテナターミナル以外(臨港道路・臨港緑地)年4回の生息モニタリング調査を実施しました。9月に実施した委託調査で、飛島ふ頭の臨港道路(歩道)沿いと隣接する事業者敷地内において有翅女王アリ(数十個体以上)を含む1,000個体以上のヒアリと巣を確認しました。また、10月に環境省が実施した全国港湾調査の飛島ふ頭内での調査においてコンテナヤードの舗装面でヒアリが約70個体発見され、令和2年度のヒアリ確認は2事例でした。	港湾労働者や来港者の被害防止、県民・市民が安心して来港できるよう、今後も引き続きヒアリ等の侵入、定着防止の取り組みを行っていく必要があります。	本組合調査は、コンテナターミナルは粘着トラップ調査から誘引餌調査に変更し、臨港道路及び臨港緑地は、ヒアリが確認された飛島ふ頭内においては調査対象道路を増やすとともに、目視調査から誘引餌調査に変更します。調査時期についてもアリの活動が活発な春から秋にかけて実施するなど、調査を強化します。また、飛島ふ頭内の臨港道路の除草回数を増やし、ヒアリ等の生息に適した環境の除去に努めます。引き続き、環境省が行う調査にも協力していきます。

<p>施03事07 堀川口のポンプ施設・防潮水門及び港内の防潮扉等の管理・運用</p> <p>管理している設備を計画的に直営および外部委託にて補修を行い、災害時の故障発生を防ぎ、異常なく稼働しました。</p>	<p>施設の経年劣化に対応した適正な維持管理をしていく必要があります。</p>	<p>堀川流域市街地を高潮や津波から守るため、効率的かつ適正な維持管理を図っていきます。</p>
<p>施03事08 中川口等におけるポンプ施設・通船門等の管理・運営</p> <p>管理している設備を計画的に直営および外部委託にて補修を行い、災害時の故障発生を防ぎ、異常なく稼働しました。</p>	<p>施設の経年劣化に対応した適正な維持管理をしていく必要があります。</p>	<p>中川運河流域市街地を高潮、津波や大雨から守るため、効率的かつ適正な維持管理を図っていきます。</p>
<p>施03事09 防災教育・訓練の実施</p> <p>防潮扉閉鎖訓練(4回)、災害図上訓練(3回)、災害対応力強化訓練(3回)、消防訓練(1回)、防災訓練(1回)、防災講演会(1回)の合計13回</p>	<p>防災教育や訓練について、課題を抽出し改善を図り、防災活動の実行性を高めていく必要があります。</p>	<p>防災教育や訓練の終了後、振り返りを実施し、課題を抽出の上、必要な対応を図っていくとともに、地震、台風などの複合災害を想定した訓練の実施にも取り組んでいきます。また、災害発生時の概況を視覚的に確認できる監視カメラや映像表示機器の設置を進め、迅速な災害対応の向上に取り組んでいきます。</p>
<p>施03事10 名古屋港港湾機能継続計画(名古屋港BCP)の推進</p> <p>名古屋港BCP協議会2回(書面開催)、ワークショップ2回(うち1回は書面開催)開催しました。</p>	<p>災害発生時の港湾機能の早期回復に向けて、名古屋港BCPの実効性を高めていく必要があります。</p>	<p>引き続き、名古屋港BCP協議会を開催するとともに、ワークショップなどを通じて、名古屋港BCPの実効性を高めるための検討や、行動と手順を確認するロールプレイング訓練及び実働訓練を実施していきます。</p>
<p>施03事11 フェーズ別高潮・暴風対応計画の拡充</p> <p>令和3年2月に木材に係るフェーズ別高潮・暴風対応計画を取りまとめました。</p>	<p>実際の台風襲来時などにおいて、防災行動を確認し、必要に応じてフェーズ別高潮・暴風対応計画を見直す必要があります。</p>	<p>実際の台風襲来時などにおいて、防災行動を確認し、必要に応じてフェーズ別高潮・暴風対応計画を見直していきます。</p>
<p>施03事12 沿岸防災情報管理システムなどの維持</p> <p>操作従事者への試験通報を毎月実施しました。また、業務委託による沿岸防災情報管理システムの保守点検を6月に実施しました。</p>	<p>的確な防災活動に活用できるよう、沿岸防災情報管理システムなどを適正に維持していく必要があります。</p>	<p>引き続き、月1回の試験通報や保守点検を確実にを行い、適正な状態で維持していきます。</p>
<p>施03事13 防災用資機材の確保</p> <p>防災用資機材の数量の点検及び保管場所の確認を実施しました。また、感染症等への対応のために必要な量のマスクや手指消毒液を確保しました。</p>	<p>防災用資機材の保管数量及び保管場所の適正な状態を継続していくことが必要です。また、感染症等への対応のため、マスクや手指消毒液について、防災用資機材として確保しておく必要があります。</p>	<p>引き続き、防災用資機材の点検を行い、防災用資機材の保管数量及び保管場所を適正な状態で確保していきます。また、感染症等に備え状況を見ながらマスク等の必要な資機材の確保に努めます。</p>
<p>施03事14 国際港湾施設の確実な保安対策の実施</p> <p>埠頭訓練として、基本訓練4回及び総合訓練1回を行いました。なお、名古屋港テロ対策合同訓練は、感染症感染拡大防止のため中止とし、名古屋港保安委員会は書面開催としました。</p>	<p>埠頭訓練及び関係機関との情報共有や連携した訓練を継続して実施することにより、保安対策を維持・強化していく必要があります。</p>	<p>埠頭訓練を実施するとともに、名古屋港保安委員会を活用し、関係機関と情報共有を行っていきます。また、緊急事態に適切に対応するため、引き続き、関係機関と連携した訓練を実施していきます。なお、成果については、感染症対策をしつつ実績値の向上を目指していきます。</p>
<p>施03事15 感染症感染拡大防止に向けた水際対策の実施</p> <p>感染症感染拡大防止に向け、水際対策として、国や愛知県等の情報収集に努め、関係者に情報提供し情報共有を行うとともに、令和2年12月に外航船舶の船員が感染した際には、関係機関と連携し対応しました。</p>	<p>関係者と情報提供・共有を行うとともに、関係機関との緊密な連携を実施していく必要があります。</p>	<p>感染症の感染拡大を防止するため、引き続き、水際対策として、国や愛知県等の情報収集に努め、関係者に情報提供・共有を行うとともに、検疫所等の関係機関との連携に取り組んでいきます。</p>
<p>施03事16 港湾施設の保安対策のための監視業務等の実施</p> <p>保安対策警備監視業務、埠頭保安機械設備点検及び保守・維持等業務を委託し、制限区域への出入管理及び内外の監視、当該設備の保守・維持修繕を実施することにより、人又は車両が正当な理由なく立ち入ることを防止しました。</p>	<p>効率性を念頭に置きつつ、確実に港湾施設の保安対策を推進することが課題です。併せて、ふ頭保安機械設備の経年劣化に伴う修繕費用がかさんでいることから、月例点検で指摘される箇所の修繕をすべて実施することが困難な状況です。</p>	<p>制限区域へ入場する者の3点確認(本人確認、所属確認、目的確認)の確実な実施及び埠頭保安設備を適切に維持管理していくとともに、保安対策に必要な予算の確保に努めていきます。</p>
<p>施03事17 ジェティーストの撤去</p> <p>令和2年9月よりジェティーストの撤去工事に着手しました(令和3年6月竣工予定)。</p>	<p>一般来港者や周辺事業者に配慮しながら、工事を施工する必要があります。</p>	<p>令和3年度竣工に向けて、引き続き撤去工事を実施していきます。</p>